

実習先名称 : 細見工業株式会社
実習部署 : 営業推進部・製作部・総務部
実習期間 : 令和4年8月15日 ~ 8月26日 (実働10日間)
実習テーマ : 製品の設計・製造

1. 志望動機

博物館に行くのが好きのため、展示ケース等の設計・製造を行っている細見工業株式会社に興味を持ち、志望した。また、製品の設計から製造まで全ての工程を行っているため、実際の企業でのモノづくりの一連の流れを経験したいと考え志望した。

2. 実習の目的

実習を通して、今までに学んできた知識・技術等を実践させられるようにする。また、社会人としての主体性を身に付けられるようにする。

3. 実習の内容

10日間の実習を通して、納品先の会社との打ち合わせ同席、図面に寸法検査後の寸法記入、工場での作業見学、製品の製作補助、製品のさび止め塗装、塗装会社への同行、会社案内の資料作成、自主制作(スマホスタンドの製作)等の内容の実習を行わせていただいた。

以下に自主制作を用いて、製品製作の一連の流れの内容・工程を詳しく説明する。

今回、自主制作としてスマホスタンドの製作を通して、ディスプレイ製品製作の流れを学んだ。まず、スマホスタンドにレーザー加工で入れるデザインを考え、製作部の方に加工する上で問題等が無いかを確認していただいた。その後、**EXPERT-CAD**を用いてデザインの確認・修正を行い、**AP100**を用いて図面を作成し、レーザーデータを作成した。そのデータをレーザー加工機に送り板金加工を行った(図1)。加工が終了した後は、加工時に生じたバリをやすりを用いて取り除き、表面を磨いた(図2)。その後、ベンダーを用いて三ヶ所の曲げ加工を行いスマホスタンドを完成させた(図3)。

製作にあたって工夫した点は、レーザー加工を生かしたデザインにした点である。くり抜くだけでなく、シルエットを残したいと考えたため、今回のようにイルカや泡のシルエットを残せるようなデザインに決定した。



図1 レーザー加工の様子

4. 実習の成果

生産実習を通して実際の企業で働かせていただいて感じたことは、今までに身に付けてきた知識等が不十分であったということである。工場での作業見学や製品の製作補助をさせていただいた際、図面を見ながら説明をしていただいたが、どのような構造になっているのか、どの部分を製作しているのかなど、理解に時間がかかってしまった。今までに図面の読み方や書き方について学び、図面を書いてきたが、改めて、企業で働く上での、自分の図面を読み取る能力に関する知識不足に気づかされた。

また、実際に「働く」ということを経験することで社会人としての在り方を学ぶことができた。実習が始まる前までは、企業で「働く」ということのイメージがあまり出来ていなかった。しかし実習を通して一社会人として働き、打ち合わせ等に同席させていただくことで、社会人としての振舞い方・スキルなどを以前よりも理解し、習得することが出来た。

また、実際に納品する図面や製品を扱わせていただくことで、改めて責任感を持って物事を行う能力を養うことが出来た。

5. 実習先へのメッセージ

今回はお忙しい中、10日間の実習を受け入れて頂きありがとうございました。実際に納品する製品の製作補助に入らせていただいたり、納品先の会社との打ち合わせに同席させていただいたり、普段の大学生活では経験できないことを沢山経験することが出来ました。また、モノづくりの知識・技術だけでなく、社会人としての在り方や「働く」ということについても身をもって学ぶことが出来ました。

実習を通して、今までに自分が身に付けてきた知識はまだ不十分であったと気づくことが出来ました。この実習を通して学んだこと・得られたことを今後の大学生活や将来に生かし、不十分であった点は今後補えるよう努力していきます。

自分にとって大変実りのある10日間となりました。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



図2 レーザー加工後の板金



図3 完成したスマホスタンド